

進路だより



第3号 令和6年7月24日発行
静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
進路指導課

今回は、高等部の『職場実習』についてお知らせします。

1学期は、3年生が5月29日(水)から6月14日(金)、2年生が6月26日(水)から7月5日(金)までの期間に職場実習を行いました。実習の様子について紹介します。お子さんの将来の姿を思い描く際の参考にしてください。

職場実習とは

一定期間、**企業や福祉施設で実際に仕事や日中活動を行う学習です**。一般企業と就労継続支援A型、就労移行については最大12日間、就労継続支援B型と生活介護については最大5日間行いました。

生徒にとって、普段とは違う場所で、教員ではない事業所の方と仕事や日中活動に取り組むということは、時には緊張や戸惑いを覚えるものです。実習を行うことで、大きな自信や成就感を得ることができます。一方で、卒業後の生活に向けた課題も見えてきます。課題はその後の学習に役立ち、更なる成長の糧となります。今回実習を行った3年生が実習で学んだことや大切だと言われたことを紹介します。

職場実習で学んだこと

～一般企業・就労継続支援A型事業所・就労移行支援事業所～

- ・出勤、休憩後の始業時間など、時間を守って行動する。
- ・本人は報告をしたつもりが、相手には伝わっていなかった。ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）をきちんとする。
- ・スピードよりもまずは正確に作業する。
- ・自分の仕事は何のためにやっているのか、ということを理解して、仕事を行う。
- ・屋外での作業の場合もあり、1日8時間働ける体力を付けておく。
- ・相手に聞こえる声で挨拶や返事をする。
- ・分かったつもりで作業しない。
- ・分からないことや不安なことは自分から聞く。

～就労継続支援B型事業所・生活介護事業所～

- ・決められた活動や作業に一生懸命取り組むことができる。
- ・一人で過ごすことができる。（好きな物があることが大切）
- ・周りの人と一緒に活動する。多くの人との活動になるので、みんなと一緒に行動できることはとても大切。
- ・素直に注意や指示を聞くことができる。
- ・安定した生活リズムが、毎日休まず通えることにつながる。
- ・元気に挨拶ができる。

実習を通して、出てきた課題は一朝一夕に解決できることではありません。日々の積み重ねが大事になってきます。学校での学習を積み重ねていくことはもちろんですが、家庭で基本的な生活習慣を身に付けたり、役割を継続して行うことができる力を身に付けることも大切です。高等部に入塾してから始めるのではなく、小学部や中学部のときから力を積み重ねることで、働く人になる力を付けることができます。



自動車部品の組み立て



部品の袋詰め



福祉用具の洗浄



野菜の収穫

本校 2 階の渡り廊下に職場実習報告書が掲示してあります。報告書には、実習先・仕事内容・目標・実習を終えての成果(頑張ったこと)、課題が書かれています。ぜひ、御覧ください。

今後の職場実習報告会

10 月には高等部 3 年生、2 年生、1 月には高等部 1 年生の職場実習を予定していて、実習報告会を以下のように実施します。今現在の具体的な進路情報を得ることのできる良い機会ですので、高等部だけではなく小学部、中学部の保護者の方の参加をお待ちしております。

高等部 3 年生職場実習報告会	10 月 2 日(水) 10:00～
高等部 2 年生職場実習報告会	10 月 30 日(水) 午前中
高等部 1 年生職場実習報告会	1 月 31 日(金) 午前中

PTA 進路講演会

日時：9 月 4 日(水) 10:00～11:10

演題「在学時、学校卒業後の家庭生活について」

こちらも多くの方の参加をお待ちしております。